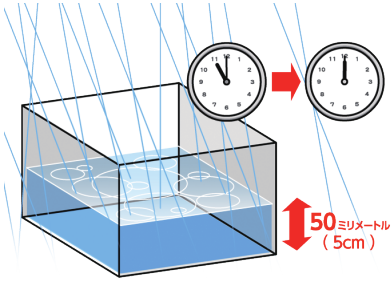


洪水について

●降水量とは
降った雨がどこにも流れ
出る事がなく、その場所
にたまった場合の水の深
さを表し、単位は mm
(ミリメートル) が使われ
ます。



やや強い雨 (10mm ~ 20mm 未満)



地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。

強い雨 (20mm ~ 30mm 未満)



土砂降りの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。小さな川では氾濫、がけ崩れの心配もあります。

激しい雨 (30mm ~ 50mm 未満)



激しい雨。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備を。

非常に激しい雨 (50mm ~ 80mm 未満)



滝のように降り、あたりが水しびきで白くなります。屋内で寝ている人の半数が気付くほどの激しい雨です。

猛烈な雨 (80mm 以上)



息苦しくなるような圧迫感があります。大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要です。

雨の降り方



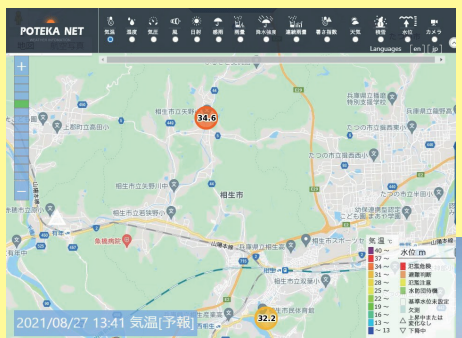
POTEKA(ポテカ) を活用してみよう。

相生市内に2箇所設置されている超高密度気象観測システム(POTEKA)は、雨量だけでなく、温度、湿度、気圧、風向風速などリアルタイムな気象状況を知ることができます。ゲリラ豪雨のような局所的な気象の急変や熱中症の危険度など、現在の気象状況をピンポイントで把握して、情報を有効に活用してください。

<http://www.potekanet.com/>

ポテカネット 検索

WEB画面



局地的大雨(ゲリラ豪雨)から身を守る

天気急変の原因は「積乱雲」(せきらんうん)という雲です。発達した積乱雲は、時に「急な大雨」「雷」「ひょう」「竜巻」などの激しい現象を引き起こし、これらによって毎年のように死傷事故が起きています。



発達した積乱雲の外観

右図の内容は、これらの事故を防ぐために、チェックすべきこと、とるべき行動をまとめています。しっかりと確認しましょう。

こんな変化を感じたら、それは積乱雲(入道雲)が近づいてくるしるしです。まもなく、激しい雨と雷がやってきます。竜巻がおそってくるかもしれません。



真っ黒い雲が近づいてきた

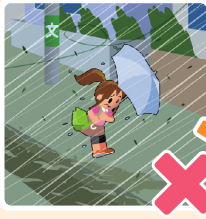


雷の音が聞こえてきた



急に冷たい風が吹いてきた

すぐに危険な場所から離れて、安全な場所に避難しましょう！



激しい雨の中を歩くのは危険。しばらく雨宿りを！



しばらくの間、
じょうぶな建物の中で、
身を守りましょう。



雷が落ちたり、突風でボールが吹き飛ばされたりします。建物の中に入って！



あっという間に水かさが増え、流れが激しくなります。川のそばから離れて！



木に落ちた雷で感電することがあります。木のそばから離れて！

出典：気象庁ホームページ

河川の水位情報

氾濫発生

警戒レベル5相当

命を守るための最善の行動をしましょう。

氾濫危険水位

警戒レベル4相当

河川が氾濫するおそれのある水位

市からの避難指示に従い、指示のない場合は自らの判断で行動しましょう。

氾濫警戒水位

警戒レベル3相当

避難情報発表の目安となる水位

高齢者・要配慮者の方は避難を開始しましょう。

氾濫注意水位

警戒レベル1・2相当

河川の氾濫の発生を注意する水位

ハザードマップで河川の洪水浸水区域や避難先、避難経路を確認しましょう。

水防団待機水位

水防団が待機する目安となる水位

通常水位

堤防